

審議結果を踏まえた今後の取組・対応方針について

まちづくり局

評価実施事業	「川崎駅周辺地区 都市再生整備計画」
所管課	市街地開発部市街地整備推進課
審 議 結 果	
評価結果及び事業をめぐる社会経済状況等を勘案し、事後評価の内容については、透明性、客観性及び公正さが確保されており妥当と判断 【付帯意見】 計画の評価に当たっては、計画に掲げた目標と評価指標の関連性を意識し、定量的な効果だけではなく、定性的な面も評価し、複数の取組の効果が計画の目標に対してどのように寄与しているのか明確に示していくことが望まれる。また、評価指標の調査手法についても、より客観性が確保されるよう工夫することが望まれる。さらに、災害などの緊急時に駅周辺に多くの人が押し寄せる可能性が高いことから、災害時への対応についても、今後の計画や取組の中で検討していくことが望まれる。	
審議結果を踏まえた今後の取組・対応方針	
計画の評価につきましては、次期計画において、定性的な成果も評価し、目標・指標・事業効果の関連性について、より明確になるよう検討してまいります。 また、指標の調査手法につきましては、次期計画において、事業効果をより客観的に示すことができる指標の設定等について検討してまいります。 災害時の対応につきましては、東日本大震災の教訓を踏まえ、首都直下地震など様々な災害に対して、的確な対策を進めていく必要があります。 現在、「都市再生安全確保計画（平成 26 年度作成）」に基づき、災害発生時における駅周辺の滞在者が安全で安心して過ごせるよう、交通事業者や民間事業者、市民団体、行政等で構成する「川崎駅周辺帰宅困難者等対策協議会」と連携し、一時滞在施設の更なる確保や、的確な情報提供、継続的な訓練の実施などの取り組みを進めております。次期計画の作成にあたっては、同計画との整合を図りながら、検討してまいります。	